

# 「線・弧・面」が魅せる2つの顔 似て非なる妙味。

[www.work-wheels.co.jp/](http://www.work-wheels.co.jp/)



## アルミ鑄造2ピースホイール WORK GNOSIS CVX/CVD

©ワーク [www.work-wheels.co.jp/](http://www.work-wheels.co.jp/) 文=本誌・児嶋

### GNOSIS CVX

価格(1本)=CVX:8万1000円(19インチ)~  
15万5520円(21インチ)



#### ツインスポークと メッシュデザインに ひねりが決め手

鑄造製法ながらビレット感あふれるエッジのある造形が特徴。メッシュデザインとひねり、コンケイブの融合はWORKでも初の試み。スポークのリム側先端にはアクセントとしてデザインウィンドーを設け、リムにデザインの一部として映り込む。ラグジュアリークーペやセダン、ステーションワゴンなどの足元に好適。

価格(1本)=9万2880円(20インチ)~  
15万1200円(21インチ)

### GNOSIS CVD

#### コンケイブを 取り入れた独創の ディッシュデザイン

オリジナリティあふれるひねりとコンケイブの複合デザインが特徴。ディッシュデザインとひねり、コンケイブのすべてがみごとに融合した、こちらもWORK初のチャレンジングなデザイン。ディッシュ面を幅広の5スポーク形状と見立てることもできる。ラージサイズSUVやセダン、ワゴンなどに装着すればインパクト大。



自動車用ホイールを開発・製造するWORK(ワーク)から2019年、2つの作品が登場した。アメ鍛風(アメリカ製鍛造ホイール)のエッジの利いたデザインに、ブラッシュドカラーをコンセプトとした「GNOSIS(グノーシス)」。これにコンケイブ(逆反り)形状を取り入れたCVシリーズの最新作「CVX」と「CVD」である。

両者にはデザインの共通点があるにもかかわらず、まったく別物といった趣に仕上がっている。基本を成すのは「CVX」のツインスポ

ークとメッシュデザインにひねりを加えたコンケイブ形状のディスク面である。

単純に「スポーク」と表現することが難しいほどに複雑な曲線を描きながら、それぞれの要素が融合していく。鑄造製法でありながら繊細でエッジの利いた曲線美は、鍛造品のそれに近い風合いを醸し出し出す「鍛造感」をも獲得している。

このひねりの利いたスポーク形状を巧みに取り入れながらディッシュデザインへと昇華させ

たのが「CVD」だ。独創感あふれるディッシュ面は、大胆なコンケイブ形状が織り込まれているところが見せ場。さらに、ディッシュデザインでありながら縦型開口で分割された大きな5スポーク形状にも見える不思議な感覚。

「GNOSIS CVX」と「GNOSIS CVD」。斬新さを究めたこの2つの顔は、ともに大径タイヤを装着する輸入車はもとより、プレミアム系国産車にも向く。独創的なホイールをお望みならば、まさにその志向に合致するだろう。